パイロン 耐震改修スリット工法 設計施工標準

※各項目の□部分を■チェック、（　）部分に仕様、数値を記入

1．適用範囲・特記事項

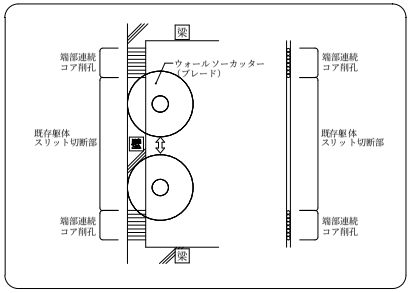
・本仕様書は、鉄筋コンクリート造等内、耐震改修スリット工事に適用する。
・本仕様書に特記無き事項及び高位の耐火仕様については、設計図書、設計者及び係員の指示に基づく。
・スリット材の施工については、設計者及び係員の承諾を得る。

2．準拠する規基準

建築基準法・同施行令
耐震改修促進法（建築物の耐震改修の促進に関する法律）・同施行令
2007年版建築物の構造関係技術基準解説書（日本建築センター）
鉄筋コンクリート構造計算基準・同解説（日本建築学会）
建築工事標準仕様書・同解説　JASS5　鉄筋コンクリート工事（日本建築学会）
構造スリット設計指針（日本建築構造技術者協会）
構造スリット施工管理マニュアル（建設業協会）
2001年改訂版既存鉄筋コンクリート造の建築物の耐震改修設計指針同解説（日本建築防災協会）
既存建築物の耐震診断・耐震補強設計マニュアル2012年版（建築研究振興協会ほか）
その他（　　）

3．工事概要

鉄筋探査　：（　　）
配筋探査　：（　　）
仕上モルタル厚確認　：□ 要（厚さ：　　）　□ 不要
仕上・躯体の切断　：□ ウォールソーカッター　□（　　）
躯体端部の切断　：□ コアドリルによる連続削孔　□（　　）
※スリット端部の切断は、ウォールソーカッターだけでは切断不良となる。
　そのため下図のように、スリット端部はコアドリル等で連続削孔し、切断不良を防ぐ。



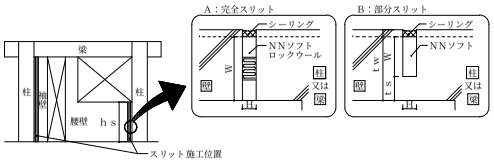
鉄筋切断面の防錆措置　：□（　　）
スリット材挿入　：□ 完全スリット（□ 垂直　□ 水平）
　□ 部分スリット（□ 垂直　□ 水平）
仕上　：□ シーリング　□ 不要　□ その他（　　）

【留意事項】
コンクリート及び仕上材・塗り仕上・塗装面の保護　：
　□（　　）
切断後のハツリ作業　：□ 躯体に悪影響を与えないよう丁寧に行う
　□（　　）
切断、ハツリ後の補修基準　：（　　）
　補修方法　：（　　）
スリット部の壁配筋　：□ 切断　□ 一部残存（　　）
その他特記事項　：□（　　）

4．検査

検査報告　：報告書作成　□ 要　□ 不要
検査方法　：□ 目視　□ 計測
　写真添付　□ 要　□ 不要
検査箇所数　：□ 全箇所　□ 任意抽出（総箇所数の（　　）%以上）
取付時検査項目　型式　：□ 完全スリット（□ 垂直　□ 水平）
　□ 部分スリット（□ 垂直　□ 水平）
　形状　：□ H（厚み）　□W（深さ）
　位置　：□ 使用部位　□ 取付状態
　仕様　：□ 耐火　□ 防水
　配筋　：□ 要（目視）　□ 不要

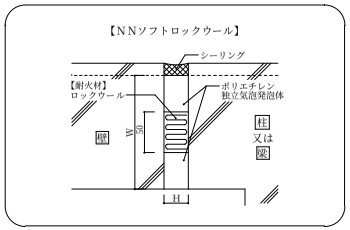
5．共通設計仕様



スリットの位置　：設計図に明記　□ 伏図　□ 軸組図　□（　　）
【A：完全スリットの場合】
スリット厚みの決定　：□ ３０　□ スリット長さ（ｈｓ）の１／５０
　□ その他（　　）
【B：部分スリットの場合】
定義１　：□ ｔｓ≦ｔｗ／２　かつ　ｔｓ≦７０
定義２　：□ ０．５ｔｓ≦Ｈ≦ｔｓ
スリット厚みの決定　：□ ３０　□ スリット長さ（ｈｓ）の１／５０
　□ その他（　　）

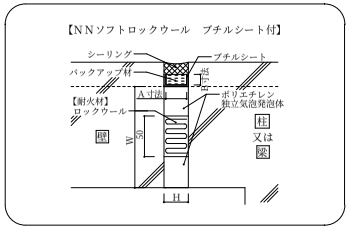
6．完全スリット

□ ＮＮソフトロックウール（耐火タイプ）



施工方向　：□ 垂直　□水平
Ｈ　：□ ３０　□ ３５　□ ４０　□ ４５　□ ５０　□（　　）
Ｗ　：□（　　）　※Ｗ８０から５mm毎に対応
スリット部の壁配筋　：□ 切断　□ 一部残存（　　）
鉄筋切断面の防錆措置　：□（　　）
シーリング　：□ 要（　　）　□ 不要
その他特記事項　：□（　　）

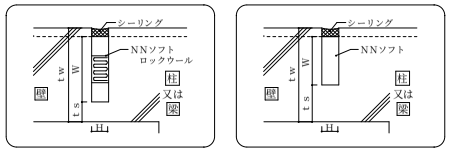
＊防水タイプ
□ ＮＮソフトロックウール　プチルシート付（耐火・防水タイプ）



施工方向　：□ 垂直　□水平
Ｈ　：□ ３０　□ ３５　□ ４０　□ ４５　□ ５０　□（　　）
Ｗ　：□（　　）　※Ｗ８０から５mm毎に対応
プチルシート幅　：□ ６０（Ｈ３０、３５用）　□ ７５（Ｈ４０、４５、５０用）
粘付パッカー　Ａ寸法　：□ ３０　□ ３５　□ ４０　□ ４５　□ ５０
　Ｂ寸法　：□ ５　□ １０　□ １５　□（　　）※５mm毎に対応
スリット部の壁配筋　：□ 切断　□ 一部残存（　　）
鉄筋切断面の防錆措置　：□（　　）
シーリング　：□ 要（　　）　□ 不要
その他特記事項　：□（　　）

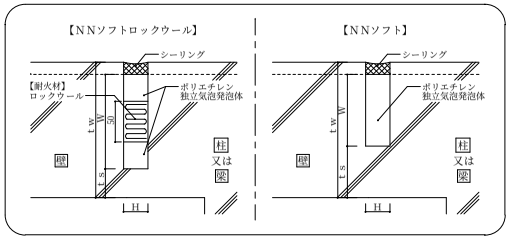
7．部分スリット

定義１　：□ ｔｓ≦ｔｗ／２　かつ　ｔｓ≦７０
定義２　：□ ０．５ｔｓ≦Ｈ≦ｔｓ



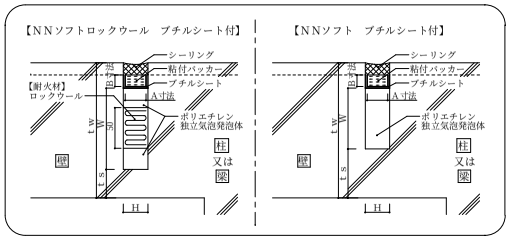
ｔｓ＜７０の場合　：□ ＮＮソフトロックウール（耐火タイプ）
　□ ＮＮソフト（非耐火タイプ）
ｔｓ＝７０の場合　：□ ＮＮソフトロックウール（耐火タイプ）
　□ ＮＮソフト（非耐火タイプ）
※ｔｓ＝７０の場合コンクリートによって１時間耐火性能が認められる。

□ ＮＮソフトロックウール（耐火タイプ）
□ ＮＮソフト（非耐火タイプ）



施工方向　：□ 垂直　□水平
Ｈ　：□ ３０　□ ３５　□ ４０　□ ４５　□ ５０　□（　　）
Ｗ　：□（　　）　※Ｗ３０から５mm毎に対応
スリット部の壁配筋　：□ 切断　□ 一部残存（　　）
鉄筋切断面の防錆措置　：□（　　）
シーリング　：□ 要（　　）　□ 不要
その他特記事項　：□（　　）

＊防水タイプ
□ ＮＮソフトロックウール　プチルシート付（耐火・防水タイプ）
□ ＮＮソフト　プチルシート付（非耐火・防水タイプ）

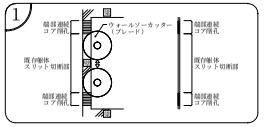


施工方向　：□ 垂直　□水平
Ｈ　：□ ３０　□ ３５　□ ４０　□ ４５　□ ５０　□（　　）
Ｗ　：□（　　）　※Ｗ３０から５mm毎に対応
プチルシート幅　：□ ６０（Ｈ３０、３５用）　□ ７５（Ｈ４０、４５、５０用）
粘付パッカー　Ａ寸法　：□ ３０　□ ３５　□ ４０　□ ４５　□ ５０
　Ｂ寸法　：□ ５　□ １０　□ １５　□（　　）※５mm毎に対応
スリット部の壁配筋　：□ 切断　□ 一部残存（　　）
鉄筋切断面の防錆措置　：□（　　）
シーリング　：□ 要（　　）　□ 不要
その他特記事項　：□（　　）

パイロン 耐震改修スリット工法 施工手順

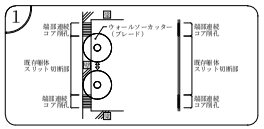
※完全スリットと部分スリットは同様に施工する。

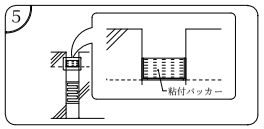
■ＮＮソフトロックウール 施工手順



1　ウォールソーカッターやコアドリルで既設壁を切断する。
※設計図やカッター業者による指示のもと、適切に行うこと。
2　シーリングの厚み分を残し、ＮＮソフトロックウールを挿入する。
3　シーリングを施す。
※ＮＮソフトロックウールがバックアップ材の役割をするため、粘付パッカーは不要。

■ＮＮソフトロックウール プチルシート付 施工手順





1　ウォールソーカッターやコアドリルで既設壁を切断する。
※設計図やカッター業者による指示のもと、適切に行うこと。
2　プチルシートを内側に折り込み、ＮＮソフトロックウールを挿入する。
3　プチルシートのコンクリート接着面に、プライマーを塗布する。
4　プチルシートのりけい紙を剥がし、コンクリートに接着させる。
5　粘付パッカーの接着面とプチルシートが接着するよう、粘付パッカーを挿入する。
6　シーリングを施す。

改訂		
	2014/12/	Ver.1 ： 新規作成
	2015/3/6	Ver.2 ： 部分スリット詳細追加
	2016/6/1	Ver.3 ： 社名変更

パイロン株式会社
〒166-0004　東京都杉並区阿佐谷南1-33-1　第二東都ビル2F
TEL：03(5305)4322 / FAX：03(3316)4177
http://www.pailon.co.jp
e-mail:info@pailon.co.jp

件名	ＮＮソフトロックウール	DATE	2016/6/1	図面№
図面名	設計施工標準図	SCALE	A3：1/1	PNN-1
		担当	畑中	